

学校教育目標・重点目標（取組の重点）

京都市立梅津中学校

1. 学校教育目標

自他を大切に作る共生の心と自らの生き方を探究する生徒の育成

2. 生徒に身に付けさせたい資質・能力

自らの考えや想いを伝える力 相手の意見や想いを汲み取る力 仲間と繋がり合える力

3. 今年度の重点目標と目標達成のための取組（取組の重点）

生徒の「主体性」と「社会性」の育成のため、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高める教育活動を実践する。

重点目標1 学力実態を捉えた「わかる」「伸ばす」「支える」授業の確立

- ・研究部を中心とした同じベクトルでの授業改善、「指導」と「評価」の確立、教科会の充実、年3回の報告研修による振り返り等を行う。
- ・教職員が個々に資質を高め、自らの授業改善に取り組み、学習規律を確立した「習得」、「活用」、「深化」を意識した授業を展開する。
- ・学力向上を目指した新たな授業形態を模索し、一部の教科にて少人数授業、TT 授業、縦持ち授業を実施する。
- ・学校教育活動全体でカリキュラムマネジメントを確立し、生徒が主体的に学ぶ授業に改善するという視点から、校内研究・研究協議を充実する。

重点目標2 人権尊重の意識を持った「マナー」・「モラル」・「ルール」が守れる生徒の育成

- ・生徒指導の実践上の4つの視点、「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」を意識した教育活動の実践を行う。
- ・生徒実態に応じた道徳教育の充実、自他を大切にできる人権学習を展開する。
※令和6，7年度「しなやかな道徳」研究指定校に選出 梅津三校
- ・道徳授業や人権学習を展開するだけでなく、日常の学校生活のあらゆる場面において、自他の大切さが認められる環境や生徒指導を確立する。
- ・生徒会活動を活性し、「梅津の志」等の実践を通じて、梅津中学校を愛し、誇りに思える生徒を育成する。